

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科
大館・北秋田地域医療推進学講座
研究責任者： 五十嵐 昌平

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 大腸 ESD 術中穿孔・筋層損傷例に対するクリップ縫縮後経過の検討

研究の目的

早期大腸癌に対する大腸粘膜下層剥離術(大腸 ESD)では依然、大腸に穴があく「穿孔」が重篤な偶発症であり、術中に大腸筋層を損傷することで穿孔をきたす場合があります。このような場合に筋層を保護するためにクリップによる縫縮処置を行っています。クリップによる縫縮の有効性は報告されていますが、実臨床における経過についての詳細な報告は多くはありません。そこで、穿孔を含む大腸筋層損傷後の実臨床における臨床経過を明らかにする目的で、研究を行います。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2031 年 3 月 31 日

対象となる方 2015 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までの期間に弘前大学医学部附属病院で大腸 ESD 治療を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、内視鏡画像データ・血液検査データ・発熱や腹痛などの臨床経過・病理結果などについて、標記研究のために利用します。

外部への試料・情報の提供

本研究においては、個人情報を削除したうえで、学会発表や論文報告等にデータを利用することがありますが、外部機関への資料や情報の提供は行いません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科消化器血液免疫内科学講座 五十嵐 昌平 連絡先 0172-33-5053 s.igarashi@hirosaki-u.ac.jp
-------	---